

日本学術会議「人口縮小社会における問題解決のための検討委員会」
第2回資料 2018年10月30日(火)

人口減少社会の実相

その課題と挑戦

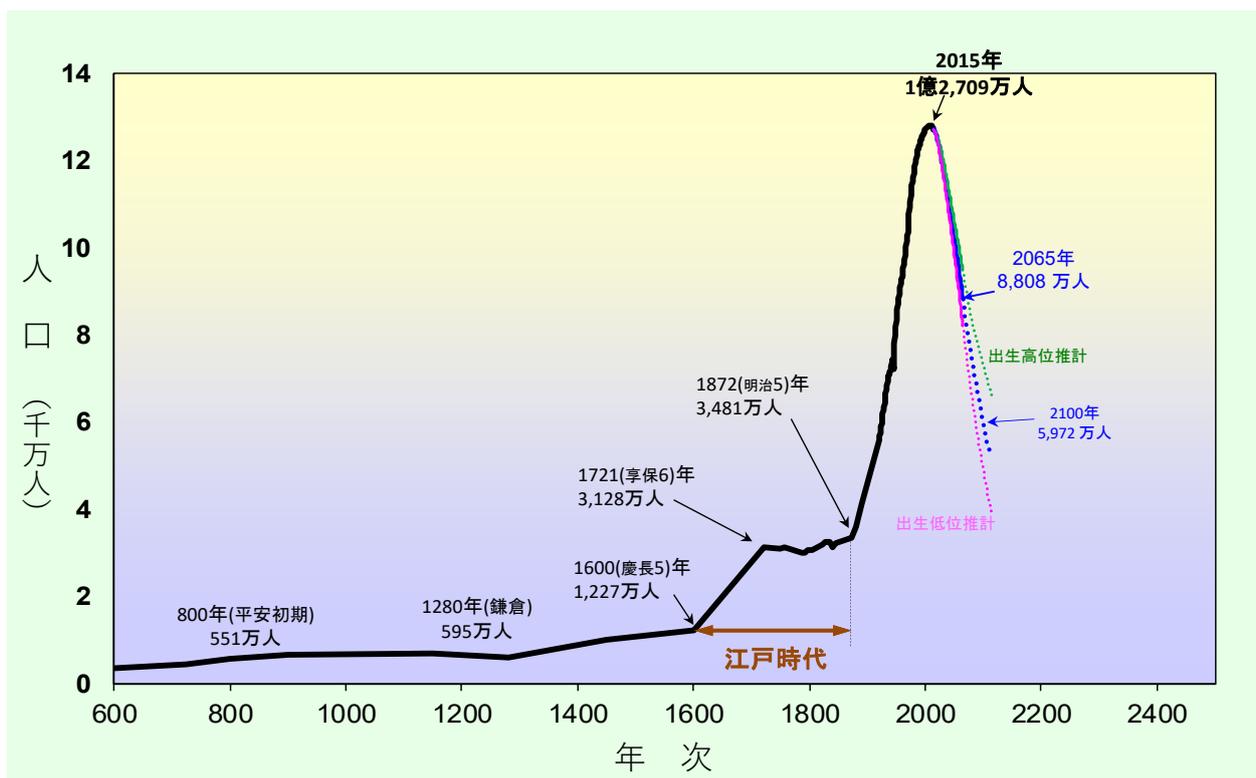
金子 隆一

明治大学政経学部



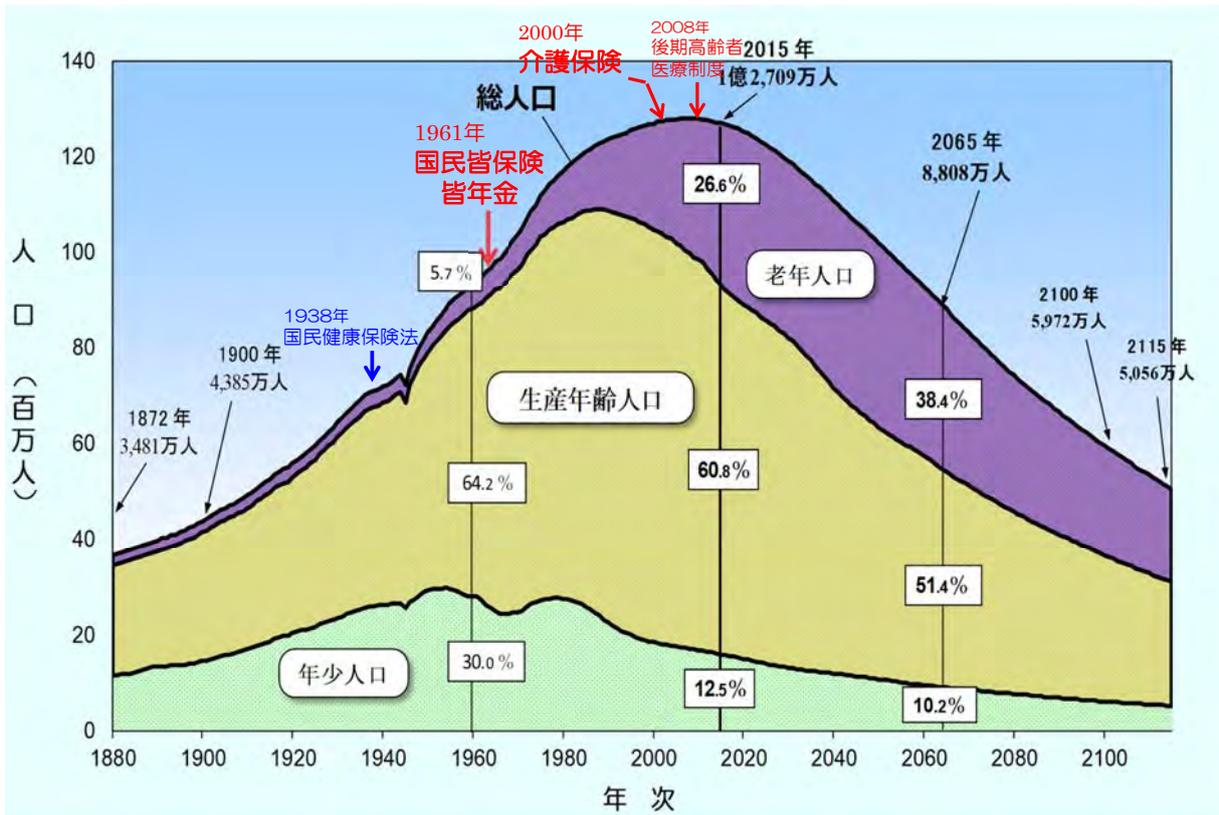
国立社会保障・人口問題研究所
National Institute of Population and Social Security Research

日本人人口の歴史的推移



資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」（1846年までは鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」、1847～1870年 森田優三「人口増加の分析」、1872～1920年 内閣統計局「明治五年以降我国の人口」、1920～2015年 総務省統計局「国勢調査」「推計人口」、2016～2115年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」[死亡中位仮定]

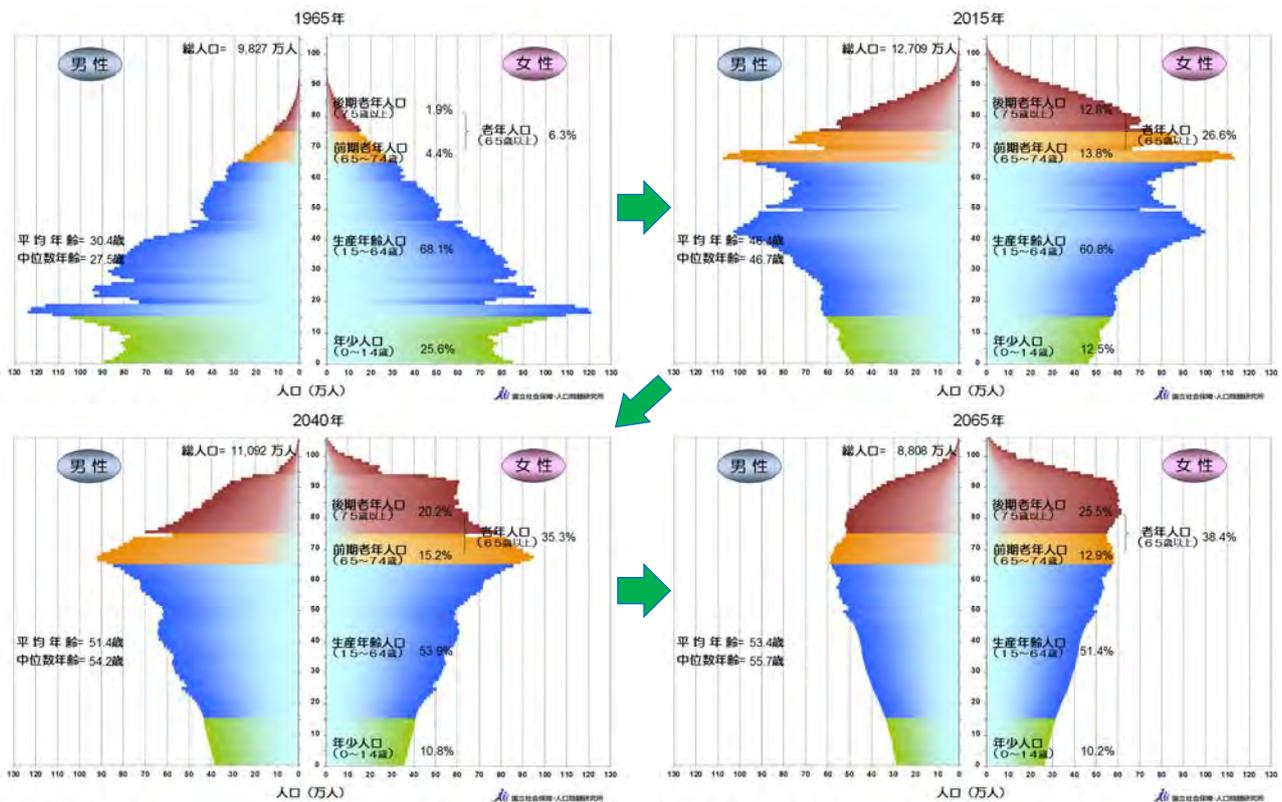
日本の人口と年齢構成の推移：明治期～21世紀～2115年



資料：旧内閣統計局推計、総務省統計局「国勢調査」「推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」[出生中位・死亡中位推計].

3

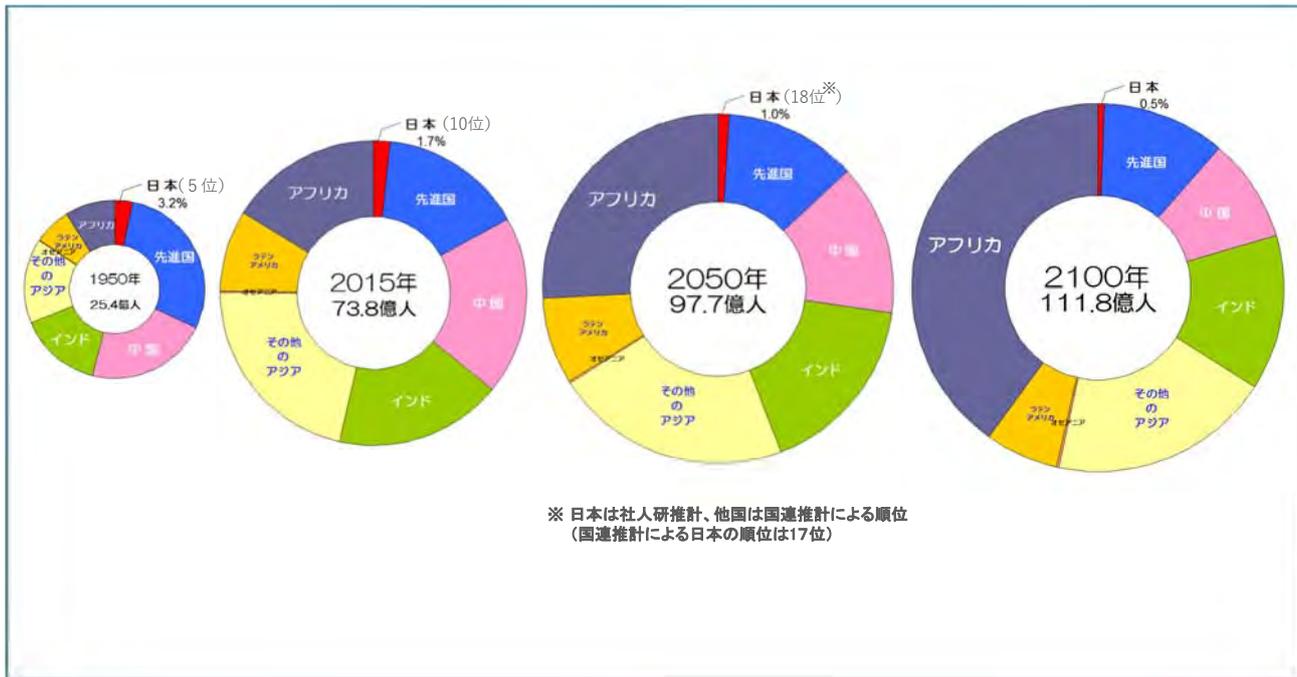
日本の人口ピラミッドの変遷：1965～2065年



4

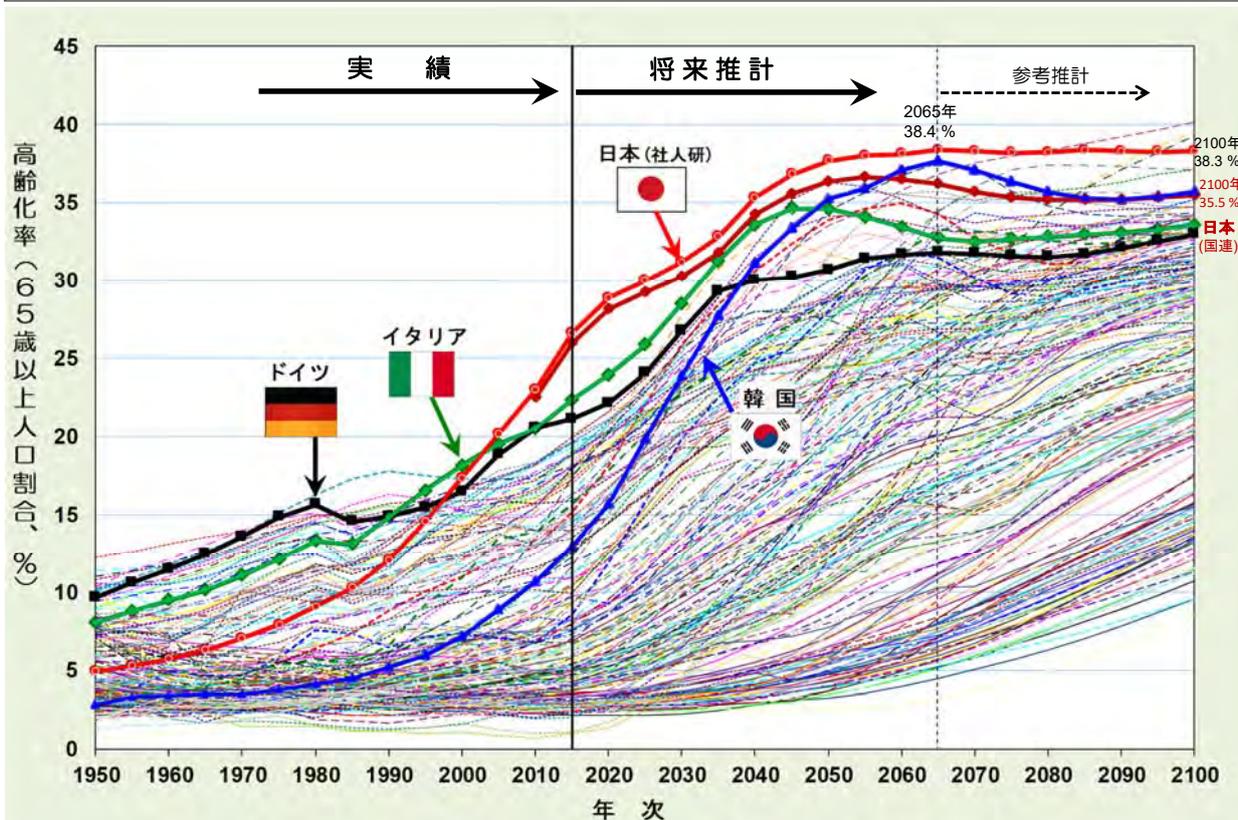
世界中の日本人口

1950年～2015年～2050～2100年



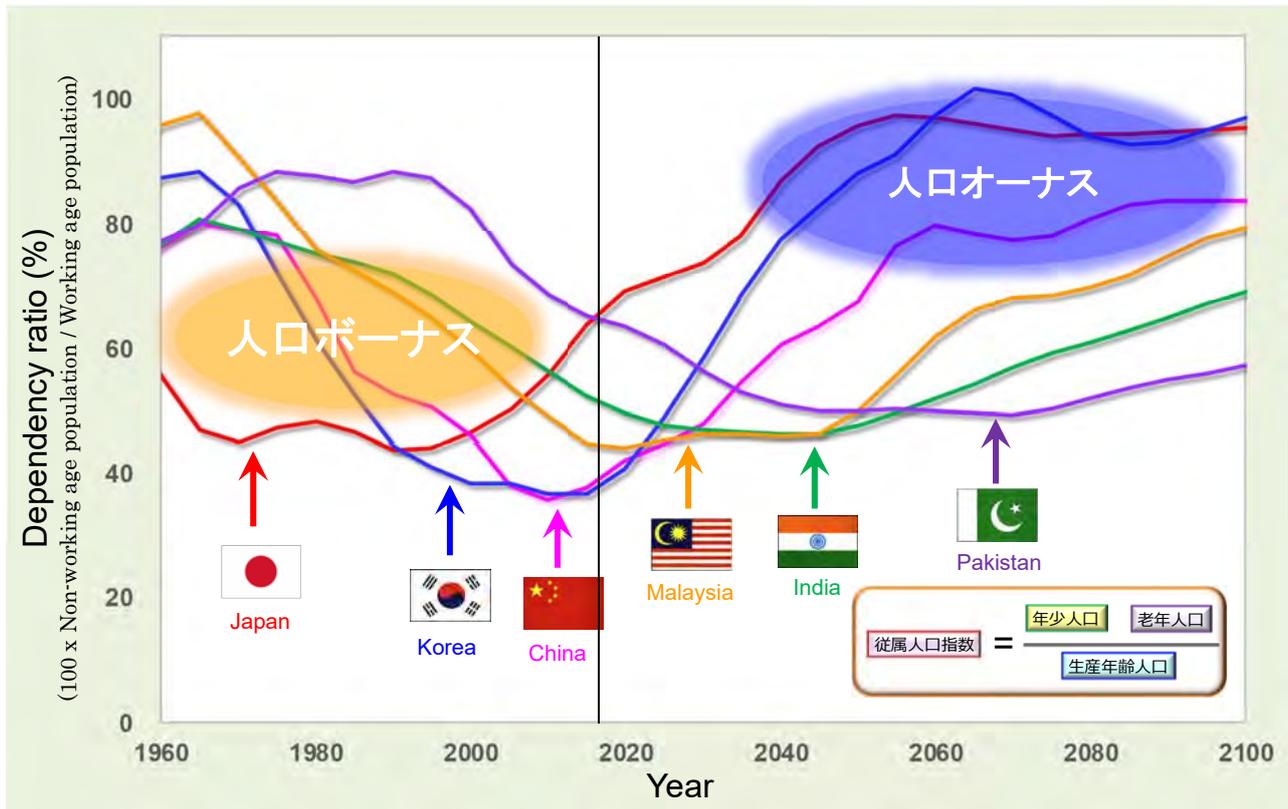
資料: United Nations (2017), World Population Prospects: The 2017 Revision. 総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成29年[推計出生中位・死亡中位推計])」

世界各国の高齢化率の推移 (1950～2100年)



資料: United Nations (2017), World Population Prospects: The 2017 Revision, 日本は総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成29年推計[出生中位・死亡中位推計])」

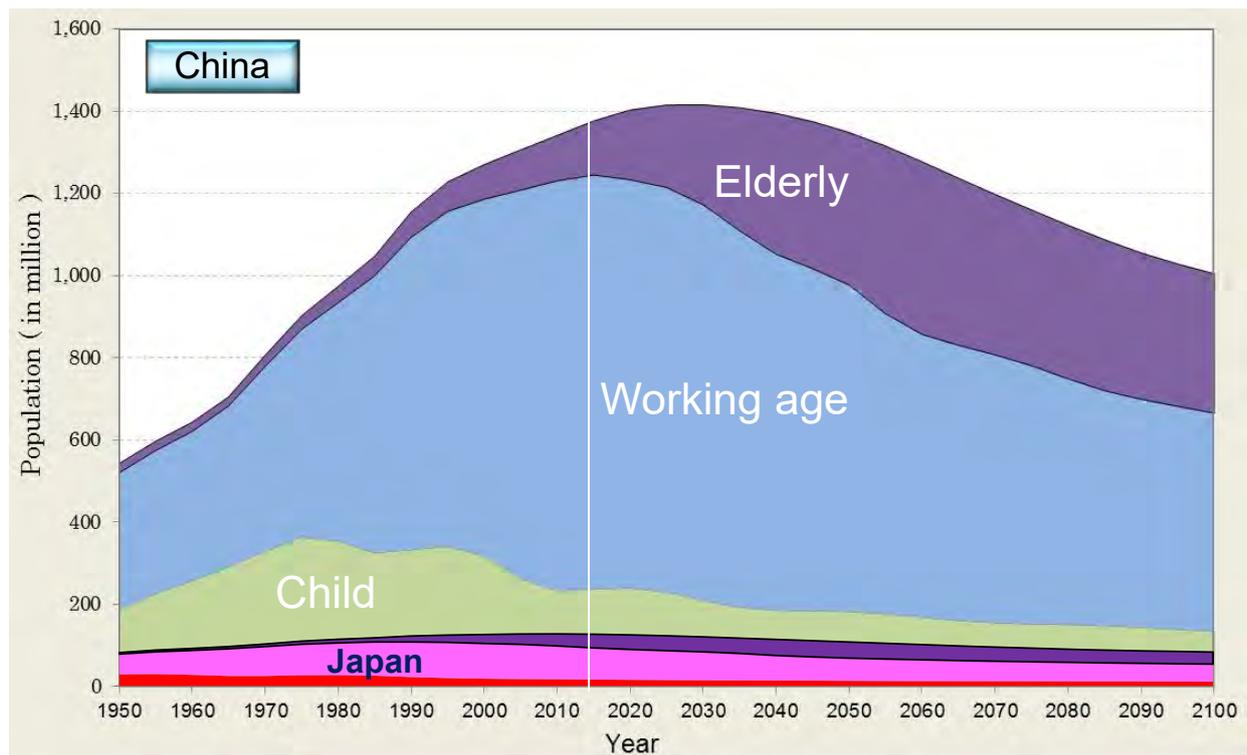
Trends of the dependency ratio in Asia, 1960-2100



Source: United Nations (2017) *World Population Prospects: The 2017 Revision*.

7

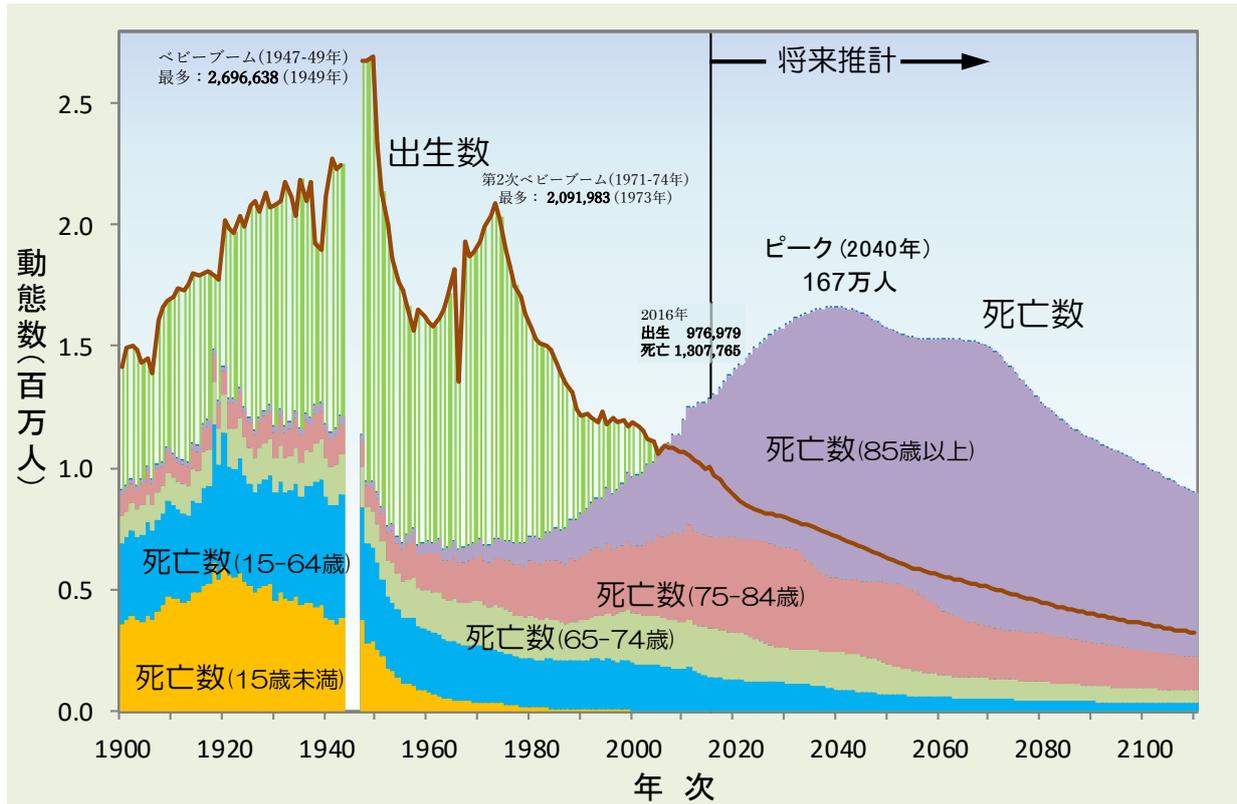
Population Trend of China : 1950-2100



Sources: United Nations (2015), *World Population Prospects: The 2014 Revision*. Statistics Bureau, *Census*, National Institute of Population and Social Security Research(2012), *Population Projection for Japan:2011-2060*.

8

出生数と死亡数の長期推移



注: 1900~2016年は厚生労働省「人口動態統計」(客体は日本における日本人の事案)による実績値。2016~2110年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」出生中位・死亡中位推計による同客体における件数の将来推計値。

9

意思決定構造の高齢化(1965~2065年)

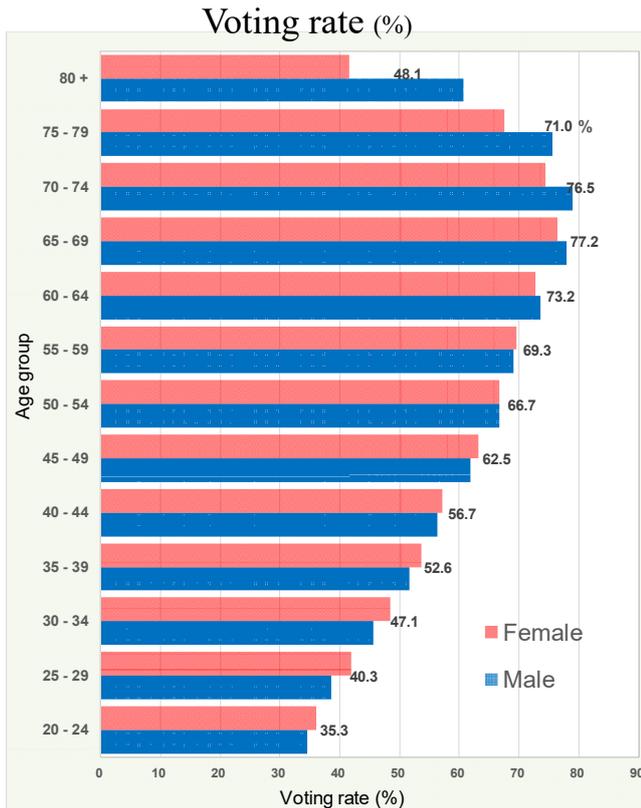
年次		総人口中の有権者割合	有権者人口(選挙年齢以上日本人)の年齢構成			
			有権者「青年」率(35歳未満)	有権者「壮年」率(35~64歳)	有権者高齢化率(65歳以上)	後期高齢率(75歳以上)
実績	1965年	63.0%	41.3%	48.8%	10.0%	3.0%
	1990年	73.1	27.0	56.5	16.5	6.6
	2010年	81.0	20.9	50.8	28.3	13.6
将来推計	2016年	81.6	18.4	48.3	33.3	16.3
	2040年	83.5	20.3	47.2	32.5	15.9
	2065年	84.3	17.7	40.8	41.5	23.8
		83.2	16.9	38.4	44.7	30.0

(注) 有権者割合: 総人口に占める規定年齢以上日本人人口の割合とその年齢層別構成比
 有権者「青年」率: 有権者総数に占める35歳未満の有権者数の割合、有権者「壮年」率: 有権者総数に占める35~64歳の有権者数の割合、
 有権者高齢化率: 有権者総数に占める65歳以上の有権者数の割合、有権者後期高齢率: 有権者総数に占める75歳以上の有権者数の割合。
 旧制度: 各年10月1日20歳以上の日本人を有権者として計算、新制度: 各年10月1日18歳以上の日本人を有権者として計算。

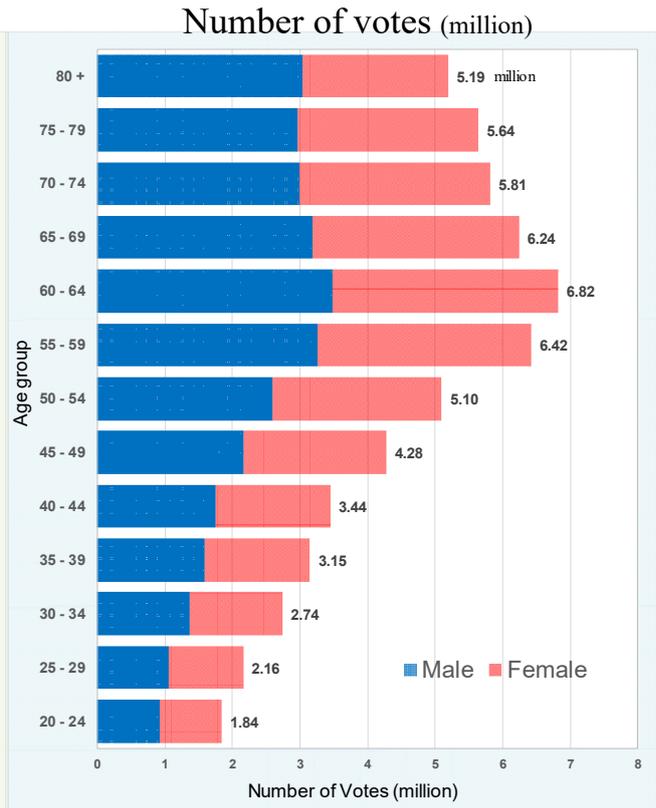
(資料) 1955~2010年: 総務省統計局「国勢調査」、2016~2060年: 日本の将来推計人口(平成29年推計)[出生中位・死亡中位推計]より推計。

10

Voting rate and Number of votes by Age group in a national election of Japan, 2012



(Note) Figures are voting rate of both sexes combined.
Sources: The 45th Lower House general election (Nov. 2012)



(Note) Estimates from the voting population multiplied by the voting rate. 11

プレストン効果、 または “シルバー民主主義”

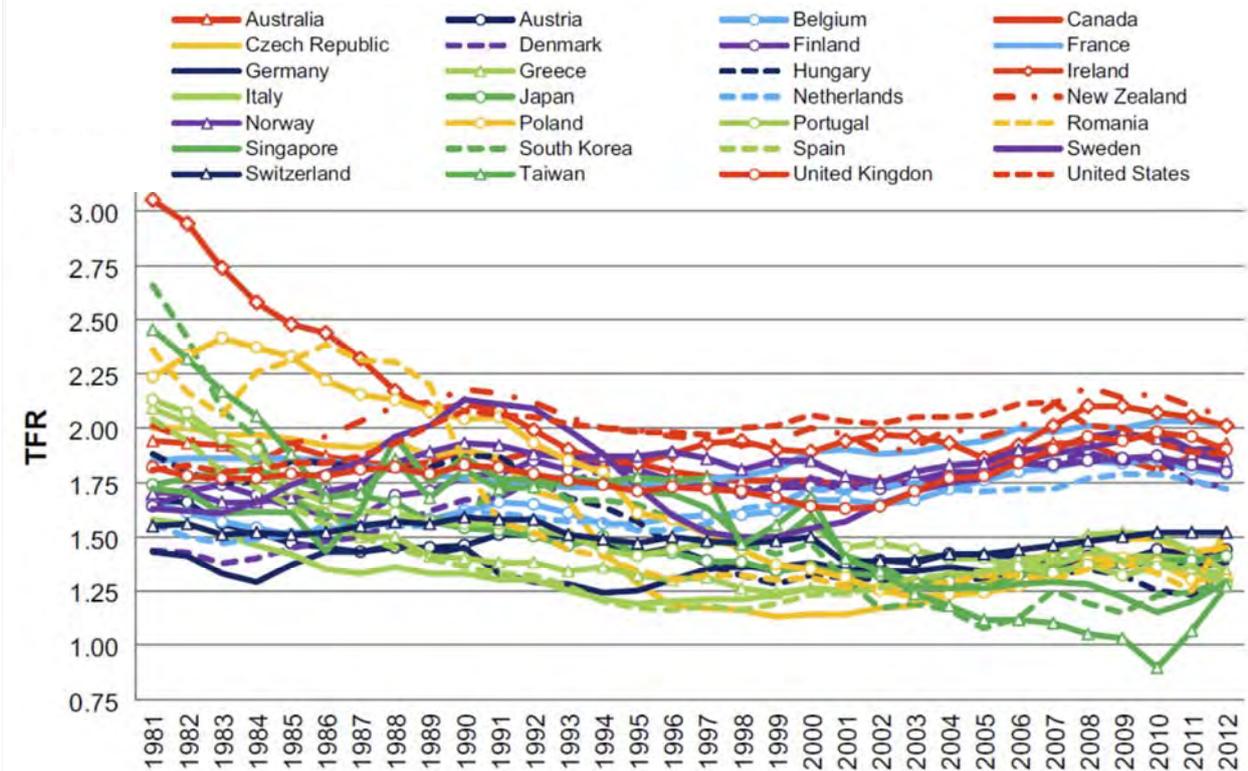


- 有権者人口の高齢化
→ 政治的意思決定 … 高齢者政策への偏り
年金・医療・介護 > 雇用、子育て支援、教育
→ 世代間公平性の問題

- 市場の高齢化
→ 高齢者向けビジネスの成長
(国内) 青少年向け事業の後退
子ども・子育て世代の生活環境・教育の質劣化 など

少子化 低出生の罠

TFR's trends for economically advanced countries: 1981-2012



Note: Canada, which has remained middle of the two groups, is omitted in the chart to clarify distinction of two groups of fertility levels.
 From: Rindfuss,Choe,Brauner-Otto(2016), "The Emergence of Two Distinct Fertility Regimes in Economically Advanced Countries."
 Popul.Res.Policy Rev 35:287-304.

女性世代別平均子ども数と無子割合

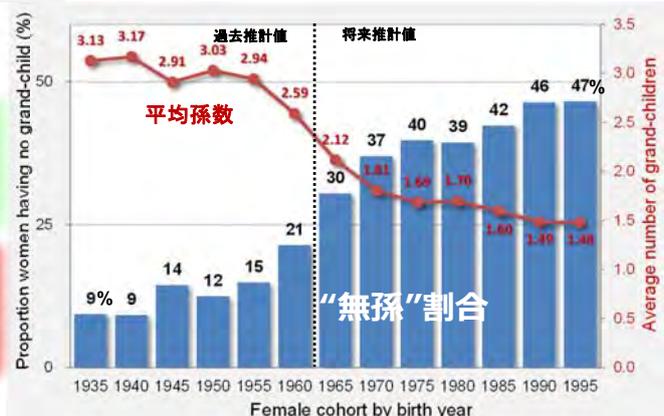


生まれ年による女性世代ごとにみた

生涯に生む平均子ども数と無子割合

生涯に生む平均孫数と無孫割合

女性世代別平均孫数と“無孫”割合



社会保障 = 世代間の支え合い

・ 出産・子育ての負担を免れた層の
 社会保障へのフリーライディング?

・ 子孫なき社会に対する投資負担の
 強要?

人口変動のもたらす課題

(1) 人口ボーナスから人口オーナスへ

- ・ 現役層の扶養負担の増大（肩車社会の到来）
- ・ 人口ボーナスブームの中のオーナス国

(2) 意思決定・市場の高齢化

- ・ 政治的意思決定の高齢化 → 世代間格差の拡大
- ・ 若年市場の縮退 → 少子化促進（低出生の罨）
- ・ 民主主義・市場原理の不全 → 多世代スコープ必要性

(3) ライフコース変容：「家族消失」「家系消滅」

- ・ 高齢単身世帯の増大 → 生活難・介護難、孤立死の増加
- ・ 家族・親族ネット消滅 → 高齢貧困層や介護難民の増大¹⁵

現代社会を支える理念の危機

I. 民主主義（政治）

“シルバー民主主義”

II. 市場原理（経済）

プレストン効果

III. 世代間の支え合い （社会保障）

世代規模の不均衡
家系断絶・家族消失

再生人口・社会の崩壊

余命等価年齢により健康度を考慮した高齢定義を用いた場合の高齢化像

男女65歳時平均余命、余命等価年齢(1960年基準)、老年猶予年数の推移

男性

年次	65歳時平均余命	1960年基準 65歳等価年齢	65歳時 猶予年数
1960	11.6	65.0	0.0
1990	16.2	71.6	6.6
2010	18.7	74.7	9.7
2030	20.7	77.1	12.1
2065	22.6	79.3	14.3

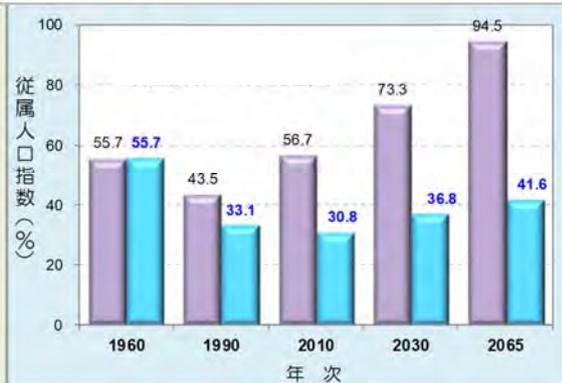
女性

年次	65歳時平均余命	1960年基準 65歳等価年齢	65歳時 猶予年数
1960	14.1	65.0	0.0
1990	20.0	72.2	7.2
2010	23.7	76.5	11.5
2030	25.7	78.5	13.5
2065	27.9	80.8	15.8

老年人口割合



従属人口指数



資料：2010年以前は社人研死亡データベース、2030年、2065年は「日本の将来推計人口(平成29年推計)」死亡中位仮定を用いて算出。

17

課題への処方箋

(1) 量から質へ

- ・ 長寿化・健康寿命伸長を活かし、高齢社会像を変える
- ・ 教育水準、技術水準を高め、高度情報化社会へ適応

(2) 全員参加社会の構築

- ・ 個人が能力を最大限に発揮することを**基本的人権**とする社会へ
→ 女性、子ども・若者、障害者、外国人、各種マイノリティー
→ 民主主義原理・市場原理の深化 (“シルバー民主主義”プレストン効果の克服)

(3) 社会イノベーションの実現

- ・ 新たな経済社会制度の創生 ← **技術革新・イノベーション**
政治制度(民主主義←?)、経済秩序(市場原理←?)、雇用労働、
地域(消滅←?)・家族(絶滅←?)・ライフサイクル(多様化←?)、
社会保障制度(世代間の支え合い←?)

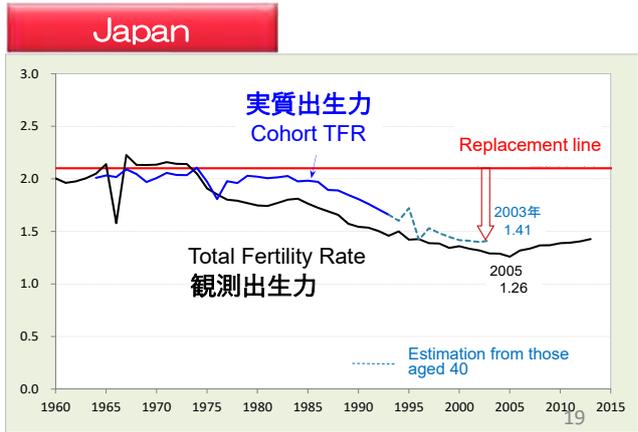
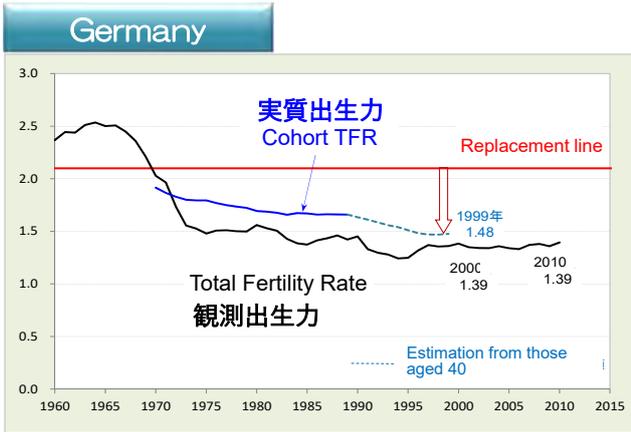
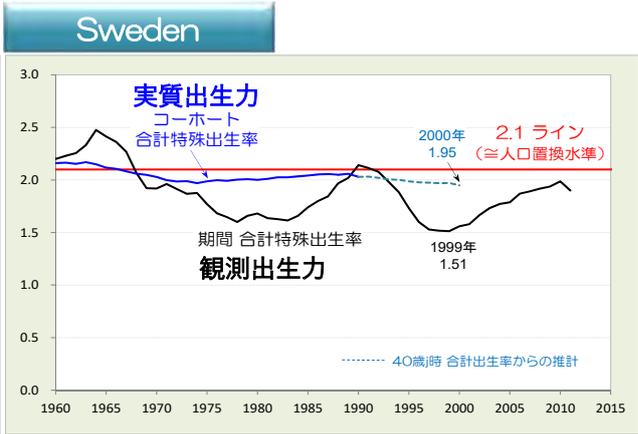
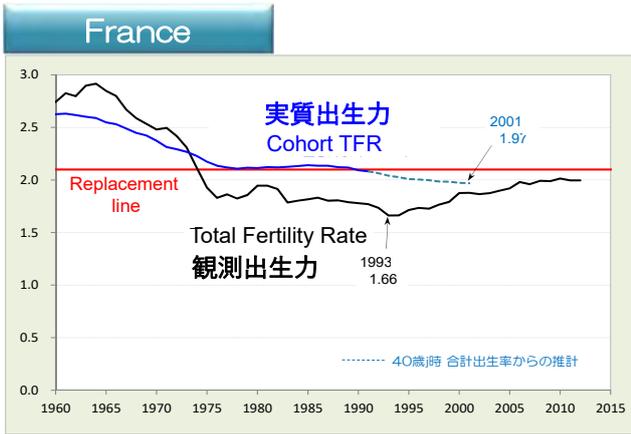
バイオ・再生エネルギー/ICT
高度医療・再生医療/AI・ロボット

「現在の小学1年生が大人になる頃には、
彼らの65%が今存在していない新しい仕事に就く」
キャシー・デビッドソン (デューク大学) ニューヨークタイムズ (2011年8月)

- ・ 多様な人々・多文化の共生 ← **国際的コミュニケーション**

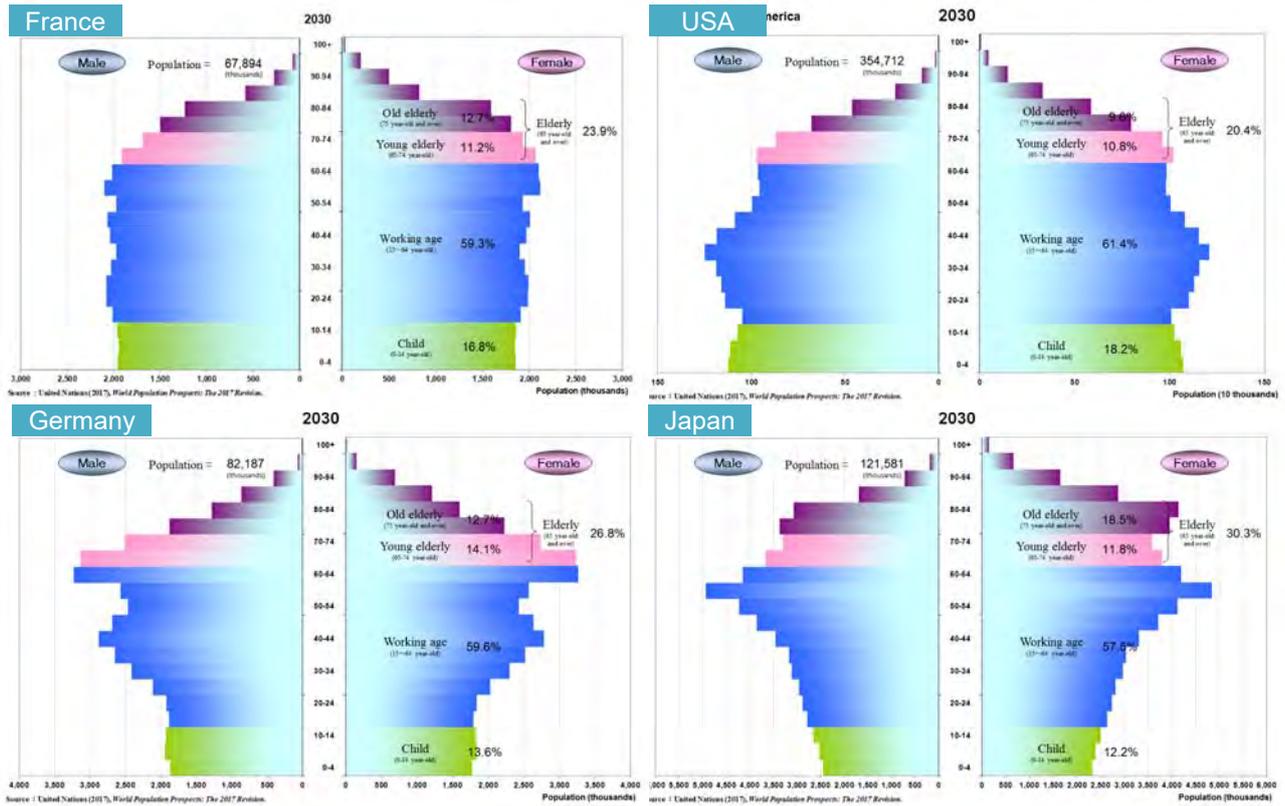
移民政策局/移民政策研究所の創設

18



Source : The Human Fertility Database (<http://www.humanfertility.org>), 2014/12/17.

Comparison of population pyramids in future (2030)



Source: United Nations (2017), World Population Prospects: The 2017 Revision.